

(別紙)

機関リポジトリ中堅担当者研修 企画書

▼目的：

機関リポジトリを中心とした幅広い知識と技術を習得し、自機関での構築・運用だけでなく、より広い視野で機関リポジトリの推進を行う人材を養成すること、また、現状の様々な課題を議論し、課題解決の手段を共有すること。

▼到達目標：

機関リポジトリ関連業務における中核的人材として、主体的、行動的に様々な課題の解決に取り組み、機関リポジトリの発展をリードしていける人材となる。また、本研修終了者には、本委員会主催の機関リポジトリ新任担当者研修の講師となること、本委員会が行う活動に積極的に参加することを求める。

▼受講対象者：

原則として以下の両方に該当する職員。

1. 国立情報学研究所学術ポータル担当研修（平成 18～22 年度）または DRF 機関リポジトリ新任担当者研修または当委員会機関リポジトリ新任担当者研修を受講済みであること
2. 機関リポジトリを運用中の機関に所属する職員で、機関リポジトリ業務の担当経験があること

▼定員：24名

▼日程：

開催日：平成 27 年 10 月 13 日（火）～14 日（水）

会 場：10 月 13 日：神戸松蔭女子学院（神戸市灘区篠原伯母野山町 1 丁目 2-1）

10 月 14 日：神戸大学百年記念館（神大会館）六甲ホール（神戸市灘区六甲台町 1）

▼注意事項：

1. 2 日目は、神戸大学で開催される国際シンポジウム「HORIZON2020 によるオープンアクセス政策とオープンサイエンスの国際的課題－学術研究における日欧の共通課題と大学図書館の役割」に参加いただきます。国際シンポジウムに関するディスカッションは、受講生と講師による Facebook グループで行うことを予定しています。
2. 1. とは別に、受講生には、後日、レポートを提出していただきます。レポートは当委員会のページで本研修の成果物として公開します。